



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2024年4月10日

企業・団体名 とやま生活協同組合

代表者名 代表理事 理事長 小泉 謙二

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 事業・活動を通して、温室効果ガス削減に取り組めます。</p> <p>【実施状況】 ・東部センター、要冷物流センター、農産物流センターに加え、2023年4月に西部センターにも太陽光発電設備を設置し、発電した電力を自家消費しています。また、10月から調達している高圧電力を再生可能エネルギー由来の電力に切り替えたことにより、とやま生協の電力使用量の88%が再生可能エネルギー由来となりました。2023年度のCO₂実排出量は1,435tで、前年から809t削減できました。また、何ら対策を採らなかった場合のCO₂排出量(BAU)に対しては63%の削減です。 ・組合員に呼び掛けて、くらしの中での温室効果ガス削減について考える一つの機会として、無理のない範囲で、ご家庭の1か月間の電気使用量を削減する「みんなで節電アクション」に取り組めました。60世帯540人が参加し、参加者全員で削減できた電気使用量は12世帯分の1か月の電気使用量にあたる6,234kWhとなり、杉の木が1年間に吸収できるCO₂量に相当する3,110kgのCO₂が削減できました。 ・生物多様性保全の取り組みとして、現地ナチュラリストのお話を聞きながら、植物やきのこを観察や池のほとりで昆虫や水生生物を観察するなど、豊かな生態系を育む大切さを親子で学ぶ環境学習会を実施しました。</p>
2	<p>【目標】 助け合いの組織として、平和で公正な社会づくりを進めます。</p> <p>【実施状況】 ・国際支援活動として、ガザ緊急支援募金を含むユニセフ募金(6,010人、567万円)や、ご家庭に眠っている書損じ・未使用のハガキや切手、商品券などを集めて国際支援をする「書損じハガキetc.回収キャンペーン」(認定NPO法人ハンガー・フリー・ワールド主催)などに取り組めました。(1,601件、338万円相当) ・災害支援活動として、「令和5年7月大雨災害」に対する災害緊急募金(2,507人、325万円)と、令和6年元日に発生した「能登半島地震」に対する災害緊急募金(12,452人、2,198万円)に取り組めました。また、能登半島地震の発災直後から、被災地への救援物資のお届けやボランティア派遣、炊き出し支援をはじめ、被災されたCO・OP共済加入組合員へのお見舞い訪問活動、石川県の生協「コープいしかわ」への業務支援などを行って来ました。 ・ハラスメント防止を目的に、ガイドブックの配布やアンケートの実施、管理職向けの研修会を実施しました。</p>
3	<p>【目標】 組合員とともにエシカル消費、食品ロス削減、リサイクル活動に取り組めます。</p> <p>【実施状況】 ・エシカル消費対象商品の普及に取り組み、17億600万円(前年比108%)の売り上げがありました。また富山県消費者協会と連携して実施したSDGsアンケートには2,186人の参加があり、「エシカル消費」の認知・理解度は40%と前年の12%より大きく伸長し、「SDGs」の認知・理解度も85%と前年の68%から増えました。 ・フードドライブは店舗、各事業所、イベントで取り組み、3,823点・667.9kgの食品を提供いただき、子ども食堂、福祉施設、社会福祉協議会などへお届けしました。 ・宅配配達時に回収可能な資源について案内し、生協事業で排出される資源のリサイクルに取り組めました。</p>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。